

ふれあい広場あつべつ・科学館公園の再整備計画

【概要版】

平成●年●月

厚別区

第1章 計画策定の背景

1. 計画策定の目的

厚別中央市民交流広場（愛称：ふれあい広場あつべつ）（以下「広場」）は、1996年（平成8年）に条例広場に位置付けられ、ステージや音響等の設備が整備されました。

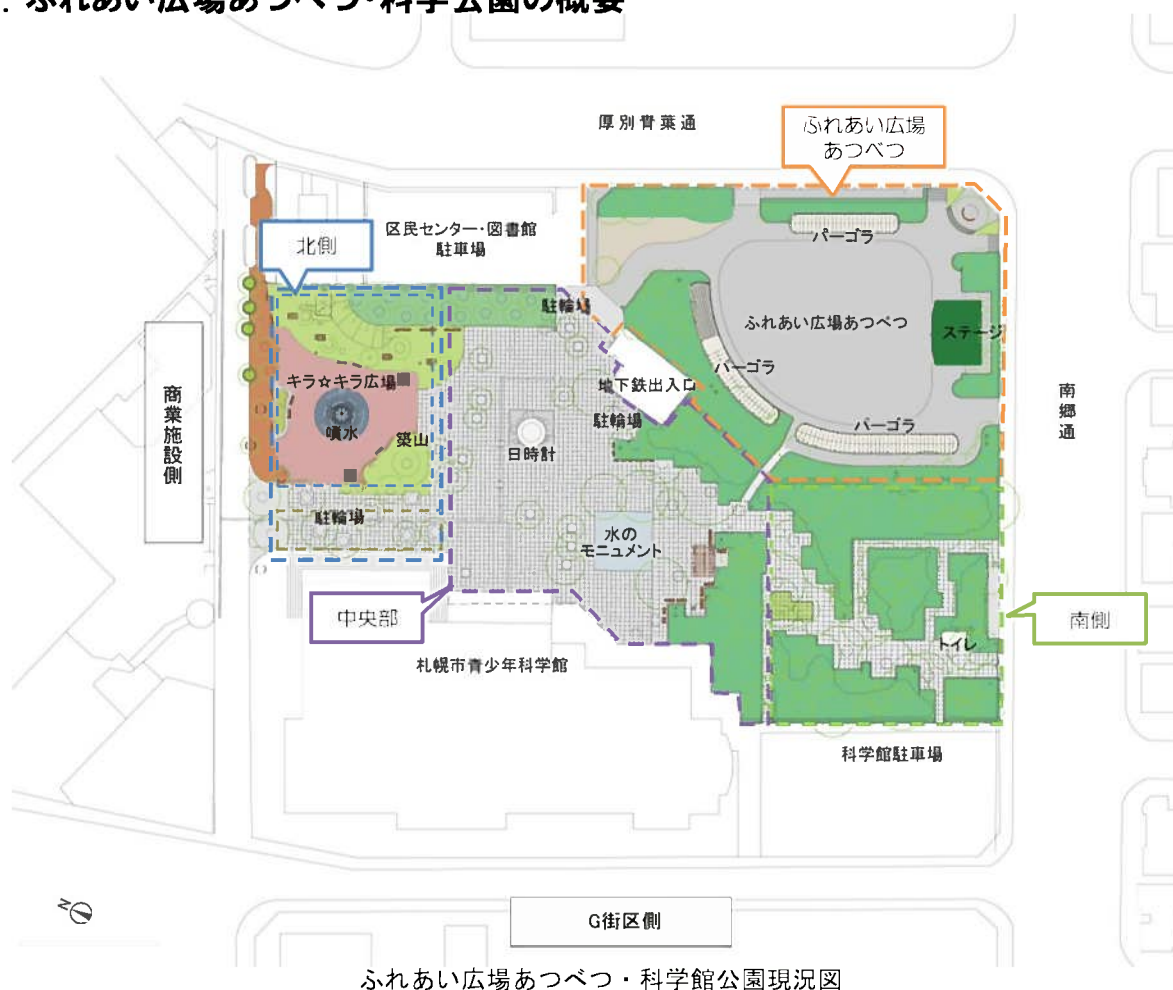
隣接する科学館公園（以下「公園」）は、青少年科学館のエントランス広場としての役割も踏まえ、1983年（昭和58年）年に特殊公園として供用が開始され、モニュメントなどの設備が配置されるとともに、自然を感じ、やすらげる貴重なスペースとして、現在に至っています。

広場・公園は、整備から相当期間が経過し、設備や舗装の老朽化が進んでいますが、その一方で、周辺地区では新たな民間開発が計画されているなど、今後まちが大きく変貌し飛躍する可能性を秘めています。

そこで引き続き利用者の安全性と利便性を確保するとともに、将来の更なるにぎわい創出に寄与することができる一体的な再整備の方向性を示すことを目的に、本再整備計画を策定します。

なお、本計画の策定にあたっては、地域の皆様にご協力いただき「ふれあい広場・科学館公園のあり方検討委員会」を開催し、望ましいあり方や再整備内容に関するご意見をいただき策定しました。

2. ふれあい広場あつべつ・科学公園の概要



【広場・公園の概要】 所在地：札幌市厚別区厚別中央1条5丁目
面積：ふれあい広場：約5,000㎡、科学館公園：約9,900㎡、計：約14,900㎡

3. 新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりについて

広場・公園が位置する新さっぽろ駅周辺地区は、札幌市まちづくり戦略ビジョン^{※1}において、区の拠点としての役割を担う重要なエリアに位置付けられています。

同地区において市営住宅の建て替え集約化により広大な開発可能地（G街区・I街区）が発生したことから、これらの利活用を中心にまちづくり全体の方向性を定めた「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」（以下「まちづくり計画」）を2014年（平成26年度）に策定しました。

まちづくり計画内において、広場・公園は、更なる利便性の向上や、G街区側などとのアクセス性の向上等について検討を行うこととしています。

※1…平成25年度に策定された札幌市のまちづくりにおける最上位計画



新さっぽろ駅周辺施設概要図

4. アクションプランでの位置付けと今後の進め方

本再整備事業は、「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015^{※2}」にて以下のとおりに進めることとしています。

※2…財政規律を堅持しつつ、適切な未来への投資を行うことで、札幌市まちづくり戦略ビジョンの実現をより一層進めて行くことを目的とした計画

年度	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度
内容	再整備計画の策定	実施設計	再整備工事 ・広場・公園ともに 40/100に当たる整備	再整備工事 ・広場・公園ともに 60/100に当たる整備
計画額	5,000千円	11,000千円	74,000千円	未定

アクションプランのスケジュール

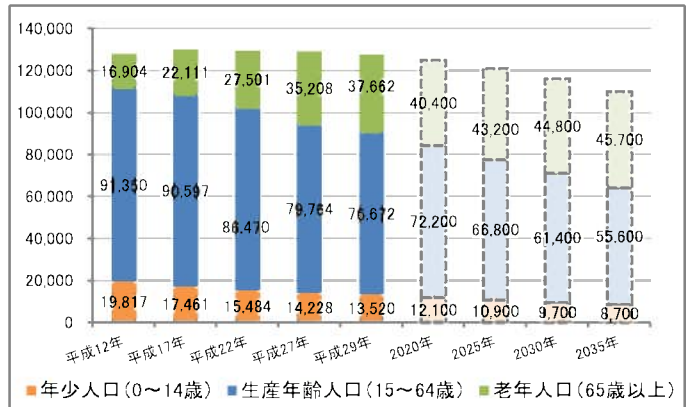
第2章 ふれあい広場あつべつ・科学館公園を取り巻く現況

1. 札幌市・厚別区の現状

(1) 人口

これまで増加傾向にあった札幌市の人口は、2017年（平成29年）をピークに減少に転じ、2037年には約180万人まで減少、高齢化率は35.1%まで増加すると見込まれています。

厚別区の人口は、2017年（平成29年）10月時点では、約12万9千人となっています。将来人口は、2015年（平成27年）から2035年までの20年間に、生産年齢人口が約3割減少、老年人口が約1.2倍に増加し、少子高齢化が進行すると見込まれています。



厚別区の人口推移(年齢階級別) (人)

(2) 公共交通

厚別区は、JR2路線と地下鉄東西線が敷設されており、市内でも交通利便性の高い地域となっています。中でも、新さっぽろ駅周辺地区は、JR新札幌駅と地下鉄新さっぽろ駅が重層的に配置されているうえに、一日に1,200便が発着する新札幌バスターミナルがあるなど、非常に交通至便な地域となっています。

2015年(平成27年)の
日平均乗降人数(人/日)

	乗車人数	順位
JR新札幌駅	14,120	市営地下鉄駅 4位
地下鉄 新さっぽろ駅	19,966	道内JR駅 4位

(3) 周辺施設

広場・公園周辺には、厚別区役所や区民センターなどの公共機能や商業施設、また、青少年科学館やサンピアザ水族館・劇場などの文化・教育施設があることに加え、今後も大規模な民間開発による新たな機能集積が予定されています。広場・公園はその中心に位置し、当地区全体への回遊性やにぎわいの連続に大きな影響を与える場所となっています。

2016年度(平成28年度)の
来館者数(人/年度)

	来館者数
青少年科学館	398,379
サンピアザ水族館	155,647
サンピアザ劇場	18,602

再整備に向けて(人口・公共交通・周辺施設の現状を踏まえて)

厚別区は、札幌市の中でも少子高齢化が進んでおり、今後もその傾向が続くことが予想されます。引き続き、広場・公園を活用し、区を中心である新さっぽろ駅周辺地区におけるにぎわいを創出し、それを区全体へ波及させること、また**幅広い世代に魅力を感じてもらえるような地域づくりに貢献**していかなければなりません。

公共交通機関が至便な当地区では、通勤・通学、買い物等で多くの人が足を運び、さらに、周辺の青少年科学館や水族館など楽しみながら学べる多くの施設によって、文化・教育的な風土が生まれ、小さな子ども連れの家族が多く訪れます。

さらに、区民センターやサンピアザ劇場や光の広場では、**演奏会や発表会・演劇など、多くの若者や学生が活躍**しています。

今後、広場・公園は、多くの方々が来訪する地域にある優位性を生かし、**若者や学生が活躍し、多世代の交流を促進**できるような活用を目指す必要があります。

2. ふれあい広場あつべつ・科学館公園の利用状況

(1) 広場の利用状況

広場では、厚別区民まつりや新さっぽろ冬まつりなど、1年を通して様々なイベントが行われています。イベント件数は増加傾向ですが、2016年度（平成28年度）の利用率は18.6%となっており、夏（7～9月）が最も多く、秋（10～12月）が最も少ない状況です。



YOSAKOI ソーラン祭り
新さっぽろ「あつこい」



厚別区民まつり



厚別区子どもまつり



新さっぽろ冬まつり

(2) 公園の利用状況

各位置についてはP1の広場・公園現況図参照

■北側

①キラ☆キラ広場

2010年（平成22年）に区の20周年事業の一環として整備された噴水広場です。「みんなが安心してくつろげる賑わいの空間」をキーワードに、特に小さな子どもの利用にスポットを当てた整備がなされており、現在も多くの親子がにぎわう空間として活用され、貴重な施設となっています。



キラ☆キラ広場

②園路（駐輪場）

商業施設と公園を結ぶ科学館公園前の園路上には、通勤・通学者等のための仮設駐輪場が設置されており、歩行空間を一部阻害しています。そのため、隣接するキラ☆キラ広場に人や自転車が侵入し、動線化してしまっている現状があります。



園路上にある仮設駐輪場

■南側

多くの機能が集積する駅周辺において、自然を感じられる貴重な散策路となっています。ただし、平坦ではなく高低差があることに加え、成長した高・低木が密集していることから、視認性が悪く利用者は少ない状況です。

また、公園用のトイレも設置されていますが、同様の理由で利用しづらい状況です。



公園南側

■中央部

青少年科学館のエントランス広場となっており、コンセプトに即した日時計やモニュメント等が設置されているほか、広場の中心部には地下鉄出入口が設置されています。

開かれた空間を利用して、区民まつりの際には飲食等の出店が並ぶなど、広場とともににぎわいの創出に寄与しています。

しかし、日常的に人通りも多くなく、人が滞在するようなにぎわいは少ない状況です。



公園中央部

3. 利用者等のニーズ調査

(1) アンケート調査

広場や公園利用者及びその周辺の通行者や施設利用者を対象に、広場や公園の日常的な利用や今後の利用に関するアンケート調査を行い、合計 369 件（広場・公園及び周辺での街頭アンケート：127 件、公共施設及び周辺施設での配架アンケート：242 件）の回答をいただきました。

○調査結果

【将来のあり方について】

Q より多くの方に利用してもらうために、科学館公園はどのような場所になったら良いと思うか。

1位 気軽に休めてくつろげる場所：26.7% / 2位 親子が安心して遊べる場所：26.6%

Q 今後、ふれあい広場あつべつでどのようににぎわいを生み出したら良いと思うか。

1位 イベント情報をもっと知ってもらえるようPRする：34.1%

2位 多くのお祭りやイベントを実施する：33.3%

【広場・公園全体の望ましい整備内容に関する意見】

Q 多くの方に利用され、にぎわいを生み出すためにはどのような整備を行うと良いと思うか。

1位 ベンチやテーブル等の休憩設備の設置：24.4%

2位 明るく見通しの良い空間や芝生の整備：20.4%

【再整備に関する自由意見】

分類	主なご意見
飲食	・屋台やフードカーなどが平日にあれば利用したい。 など
イベント	・イベントを増やしてほしい。 など
周辺施設との連携	・イベントや空間・動線として周辺施設との連携をはかってほしい。 など

(2) あつべつ区民協議会（厚別のにぎわい検討委員会）からの意見収集

主に新さっぽろ駅周辺地区のにぎわい創出に特化して意見交換を行う「厚別のにぎわい検討委員会」（地域の自主的なまちづくり検討会）にもご協力いただき、再整備に関する自由な意見交換の内容を「ふれあい広場・科学館公園あり方検討委員会」に資料として提出いただくとともに、同あり方検討委員会にも一部委員として参加いただくなど、地域の声をより反映できるよう連携を取りながら本計画の策定を進めました。

再整備に向けて（広場・公園の利用状況、利用者等のニーズを踏まえて）

広場・公園では、厚別区民まつりを中心に、地域全体で担い・楽しむことができ、多くのにぎわいを創出している大規模なイベントが開催されています。これら地域が必要としている歴史のあるイベントを引き続き支えていくことが求められます。

しかし、広場の年間利用率は決して高くなく、特に秋・冬の季節の利用が少ないという課題があることから、四季折々に1年中にぎわいを生むことに寄与できる空間とすることが求められます。

加えて、公園内に設置されている仮設駐輪場によって、公園・広場の回遊性が阻害されており、両者の連携や一体での活用がしづらい状況となっていること、さらに、アンケート調査では「気軽にくつろげる」「親子が安心して遊べる」といった意見がある一方で、「多くのお祭りやイベントを実施する」ことを望む意見も多くあることから、広場・公園を一体的に捉え、様々なニーズに応えられるような再整備を目指す必要があります。

また、アンケート調査では飲食サービスの提供やイベントの増加、周辺施設との連携など、にぎわい創出に繋がるソフト面の取組みについても意見が出されていることから、将来的な広場・公園の一体的な管理・運営のあり方等も含めた検討も求められます。

4. 老朽化施設の状況



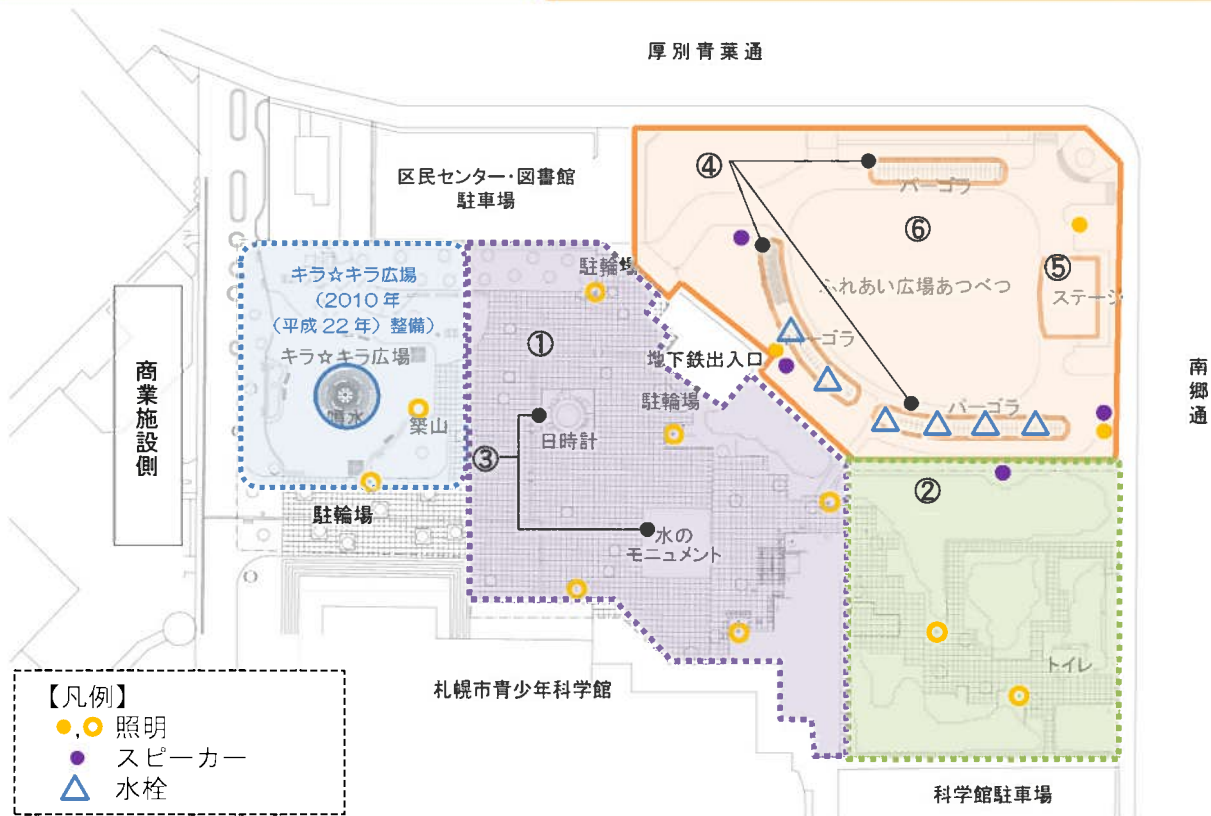
【公園の老朽化】

- 舗装…①
 - ・ ひび割れや凸凹
- 照明…②
 - ・ 柱部のメッキ剥がれ、腐食
- 樹木…③
 - ・ 樹木の成長による密集
 - ・ 低木による見通しの悪さ
- モニュメント…④
 - ・ 故障
 - ・ 動線の障害




【広場の老朽化】

- 照明・スピーカー…①
 - ・ 柱部のサビ
 - ・ 故障
- パーゴラ…④
 - ・ 屋根材の劣化
 - ・ 軒先のサビやめくれ
- ステージ・テント…⑤
 - ・ 骨組み・テントの破損
 - ・ 床面・側面の劣化
 - ・ 照明の故障
- 舗装…⑥
 - ・ ひび割れや凸凹
- 給排水設備…⑦
 - ・ 腐食
 - ・ 使い勝手の悪さ
- ステージ地下室…⑧
 - ・ 空調設備、雨水ポンプなどの耐用年数経過
 - ・ 更衣室利用等での使い勝手の悪さ

広場・公園の老朽化の状況

再整備に向けて（老朽化の状況を踏まえ）

広場・公園では、一体的に利用して行われる大規模なイベントから小・中規模のイベントまで、多様なものが開催されています。

地下鉄やJRの駅前空間でありながら、ステージやパーゴラ、水栓設備などを気軽に利用できる環境は、地域を中心とした利用者にとって非常に貴重な存在です。

今後も多様なイベント・にぎわいを支える空間として、既存設備の必要な更新と更なる改善を行い、**引き続き利用者の利便性と安全性を確保**することが必要です。

また、多くの方々が日常的に利用する公園内でも、歩行空間となりうる箇所や照明設備等の老朽化、また樹木の密集など、視認性や安全性に課題を抱えていることから、再整備の中で課題を解消し、**将来の更なるにぎわいややすらぎの創出に向けて再整備を行う必要があります。**

5. 周辺開発の状況(G・I 街区の開発想定)

■ G 街区の開発〔2021 年 4 月開業予定〕

G 街区の開発では、文系学部及び看護学部の大学の設立、産学連携施設の設立が予定されています。地域に開放される多目的ホールや図書館機能を集積し、多くの学生が集まることによる、にぎわい創出や地域コミュニティへの寄与が期待されています。

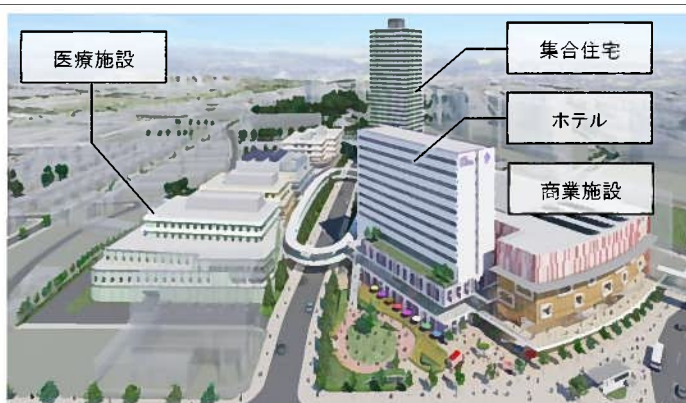


南郷通側から見た G 街区のイメージパース

出典：新さっぽろ駅周辺地区 G・I 街区公募提案審査報告書

■ I 街区の開発〔2022 年 4 月開業予定〕

I 街区の開発では、医療施設 4 棟、集合住宅、宿泊施設、商業施設の整備が予定されており、にぎわいを生む広場空間をホテル前面、集合住宅後ろの 2 か所に整備することで、多様な機能集積による持続可能なにぎわいの創出が期待されています。



原始林通側から見た I 街区のイメージパース

出典：新さっぽろ駅周辺地区 G・I 街区公募提案審査報告書

再整備に向けて（周辺開発の状況を踏まえ）

G・I 街区のような大規模な開発は、新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりを進めるうえで非常に大きな効果をもたらします。

広場・公園においても、この機を逃すことなく、地区全体に最大限の効果を発揮できるような再整備が求められます。

とりわけ、隣接する G 街区の開発により、学生を中心とした多くの若者が来訪することが予想されることから、周辺施設との動線上のつながりを強化し、**まち全体の回遊性向上と広場・公園自体のにぎわいを向上**できるような整備が求められます。

また、動線上のつながりのみではなく、周辺商業施設や G 街区の教育施設との積極的な連携によって、若者や学生が活躍できるような利活用ニーズの発掘、にぎわい創出の新たな担い手の育成などを目指す必要があります。

第3章 再整備方針

1.再整備のテーマと方針

広場と公園は厚別区におけるにぎわい創出や自然を感じる貴重な空間として重要な役割を担っている一方で、各設備等の老朽化の進行や秋・冬の利用率の低さなど、種々の課題を抱えていることがわかります。

また、周辺は利便性の高い公共交通機関や多様な機能が集積されており、さらに市営住宅跡地を中心に周辺開発の活性化が予想されるなど、まちづくりにとって大きな可能性を秘めています。

そのため、引き続き広場における厚別区民まつり等を中心とした多くのにぎわいを支え、また更なる利活用を目指すこと、さらに、駅前の貴重なゆとり空間として、日常的にも利用しやすいものとなるよう、利便性と安全性の確保を図ることができるよう再整備を進めます。

加えて、将来のにぎわい創出に寄与することを目指し、新さっぽろ駅周辺の回遊性向上やにぎわいの連続性に最大限寄与すること、またそのにぎわいを楽しんで、広場・公園自体がより魅力的な空間となることできるよう、再整備を進めます。

【再整備のテーマ】

にぎわいの創出

ゆとりと
やすらぎの確保

安心・安全
の提供

空間の有効活用と
まち全体への寄与

情報発信と
魅力の強化

【再整備方針】

- 子育て世代や若年層が愛着を持てる空間
- 多世代が訪れ、多くの交流が生まれる空間
- 1年を通じて利用される空間
- 多様なイベントが行われ、多くの人々が集れる空間
- 日常的ににぎわいがあり、活力を感じられる空間
- 駅周辺で憩い、休憩できる空間
- まちなかに居ながら適度な自然が感じられる空間
- お昼休憩など日常的な利用が快適にできる空間
- 子どもたちが楽しく遊べる・親子が安心して遊べる空間
- 明るくて見通しが良く、誰もが安全に利用できる空間
- 広場・公園の一体的利用・効果的な管理・運営の可能性を広げる空間
- まち全体の回遊性向上に寄与し、周辺施設からのにぎわいを共有できる空間
- いつ何が行われているか、誰もが情報に触れることができる空間

2. 各エリアに求められる役割と再整備計画図

■ 子どもが安心して遊べるにぎわいと休息のエリア

- ・小さな子どもたちの活力を感じられる空間
- ・元気で心温まる、子育て世代に愛着を持たれたる空間

■ ゾーンをつなげる核となるエリア

- ・人々が行き交い、にぎわいを生み出す空間
- ・立ち止まりくつろげる空間
- ・イベントにも対応できる利便性の高い空間

■ にぎわいを生み出し魅力を発信するエリア

- ・さまざまなイベントを行い、厚別区の魅力や活力を高めることができる空間
- ・多様な世代が活躍し、魅力を感じる空間
- ・四季折々に年間を通してにぎわいを創出できる空間

■ 多世代のにぎわいが生まれるやすらぎエリア

- ・多様な世代がやすらげる心地よいみどりの空間
- ・イベントにも対応できる利便性の高い空間

- 芝生や子ども(幼児)用遊具の設置
- ベンチ等の休憩施設の増設

- 公園、その他
- 舗装面の改修(バリアフリー化)
- 照明設備の更新とLED化
- 植樹帯の整理

- 広場、その他
- 音響・照明塔の更新
- 舗装面の修繕と排水性の向上
- イベント等のお知らせ看板の設置
- 給排水設備の更新

厚別青葉通

区民センター・図書館
駐車場

噴水

商業施設側

地下鉄出入口

ふれあい広場あつべつ

南郷通

- ハーゴラ
- 屋根の張り替え
- 天井照明設備の更新 等

- スタージ・テント
- 常設屋根の設置
- 天井照明、音響設備の更新
- スタージ床面・側面の修繕 等

- スタージ地下
- レイアウト変更
- 空調設備・排水設備の更新 等

- 間伐による視認性の向上
- 一部高低差を活かした整備

- 樹木の整理(間伐、伐採、移植等)
- 芝生広場の整備
- トイレ周辺の視認性と安全性の確保
- ベンチ等の休憩施設の整備

【凡例】

- 照明
- スピーカー
- ▲ 地下水柱

科学的な利活用の促進

科学館駐車場

- 各エリアの連続性を確保し、人通りによるにぎわいの演出、周辺からの積極利用を促進

- 案内看板・サインの設置
- ベンチ等の休憩施設の整備
- モニタリング・日時計の撤去と植樹帯の移設・撤去等
- 各エリア間のつながりや歩行者動線の確保

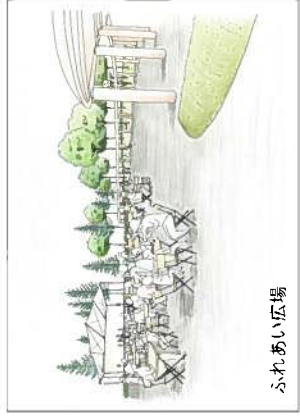
札幌市青少年科学館

科学館側

G街区側

3.再整備内容

【再整備イメージ】



(背表紙)